

あつた南面一本の本といふより若所西側
の裏の方屋陰を流横所井の陰より西海へ
流るるとも又ちまたの小池は渡場ありて芝
表の下に近年村人ホロカク表 恥を付まふ海陰
は出て往來しつゝとを橋中も古く川へ
して應流く時恥水橋の下と云ふ入りに今
の川筋垣替しと橋中もあを傳れは双方も
低く築出し一處處と一りれむ地は地とは
なれり橋も古く小橋もあつたしして名を
言橋橋と云ふるとを西史をみるに出羽の

海色よ言橋恥の言しと申すなりあれを唐
恥の言しと申す言橋と云ふ名付りふ
や生れを去る人なりといふ古く領主方
より当村より唐恥を去るれは言ふと
を見れむ生れを去る事といふ村民者所の裏
地を捨てふ二といふ文字なる人なり予按
ずるに古く当社地のうちにて對戸といひ
たりとや

一 吹浦西館

西館とも吹浦西の工はあり古人宰お成